三里塚 野戦病院ニュース
NO.17
'71.4.15
成田市駒井野
三里塚現地
救対本部

全獄中同志の即時釈放を。

― 千葉地裁を埋めつくす抗議の渦を作り出そう ―

全県民のみなさん！

わたしたち野戦病院（三里塚統一救対）は、二月二二日から開始された殺人的"代執行"＝土地強奪の攻撃に対し、地下壕の奥深くたてこもり敢然と立ち向う反対同盟と共に断固として斗い抜いてきました。この死を賭して斗う農民の叫びに応え決起した数十から万余の周辺住民・労働者・学生との固い連帯により、政府・空港公団の殺意に満ちた弾圧をはねのけ、ついに才一・才二地下壕は守り抜かれたのです。いまだ意気さかんに地下壕を占拠し続ける反対同盟は、六月才二次強制収用阻止に向け斗志をみなぎらせています。

三里塚斗争への殺人的弾圧を許すな！

しかしわたしたちの斗いに対し血迷った政府・空港公団は、のべ四万人におよぶ機動隊・公団の職員・ガードマンを配備しメチャクチャな人殺しともいえる弾圧をかけてきました。ある時には毒ガスを使い、ある時は少年行動隊に棍棒をもって襲いかかり、そして十数メートルの立木もろとも農民を地面に叩き落とす等々全く許すべからざる暴虐の限りを尽してきました。狂気じみた弾圧は今もなお脊椎圧迫骨折（全治六ヶ月）のため、日赤病院に入院中の渡辺さん（反対同盟）をはじめ、千名以上の農民・労働者・学生に重軽傷を負わせ、さらに四八七名を不当にも逮捕したのである。

この一連の農民殺しは今もなお日常的に三里塚をおそい、ガードマンの暴挙はあとをたたず、ついに二三日夜半取香の大木よねさん宅に火炎ビンが投げこまれるという悪辣な事件さえ起っています。

千葉地裁は全獄中同志をただちに釈放せよ！

千葉地方裁判所は、才二次収用阻止斗争を中心とする三里塚の斗いの中で不当にも逮捕され、起訴されたものに対し、司法権の反動化に呼応しつつ、その悪質な企みと軌を一にした弾圧を加えています。

自らの生活手段としての土地の強奪に対し正当なる斗いを行使した者が不当にも逮捕・起訴されるや「逃亡のおそれ」「罪証隠滅のおそれ」などの口実を何の根拠もなしにデッチ上げ、いまだ四三名もの勾留を続けています。どうして今度の三里塚斗争を反対同盟農民と共に斗い抜いたものが逃亡するでしょうか！ 斗いの中で勝ちとった成果をなに故に隠滅する理由があるでしょうか！

四月三日、内田行動隊長の勾留理由開示裁判においては、斗いの正当性と逮捕の不当性を鋭く問われた千葉地裁は、何ら勾留の理由を明示できず、なんと傍聴人を全員退廷させ、その上一名を拘束するという犯罪的な態度を露わにしました。

全てのみなさんが、このような千葉地裁の暴挙を許すことなく、一切の弾圧をはね返し、獄中の全同志の即時奪還、三里塚斗争勝利に向けて結集されんことを強く訴えます。

才二次強制収用阻止！三里塚空港粉砕！